

目的

人生 100 年時代をむかえ 健康寿命の延伸・生活の質の向上を目指す

コロナ禍で懸念される
フレイルの対策にも



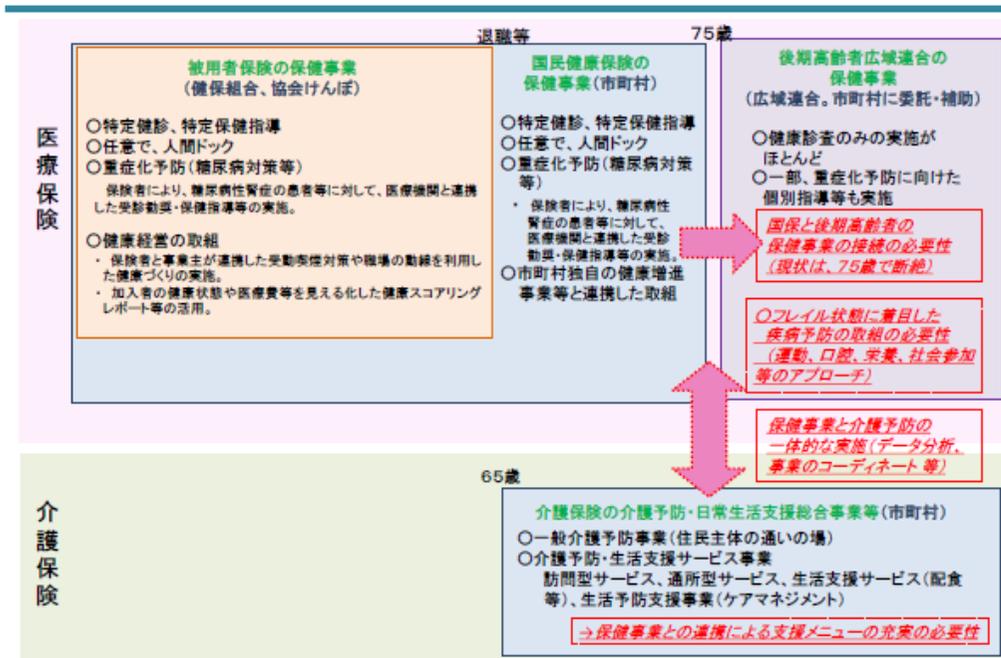
背景

健診や医療と介護予防・介護サービスが連携していない

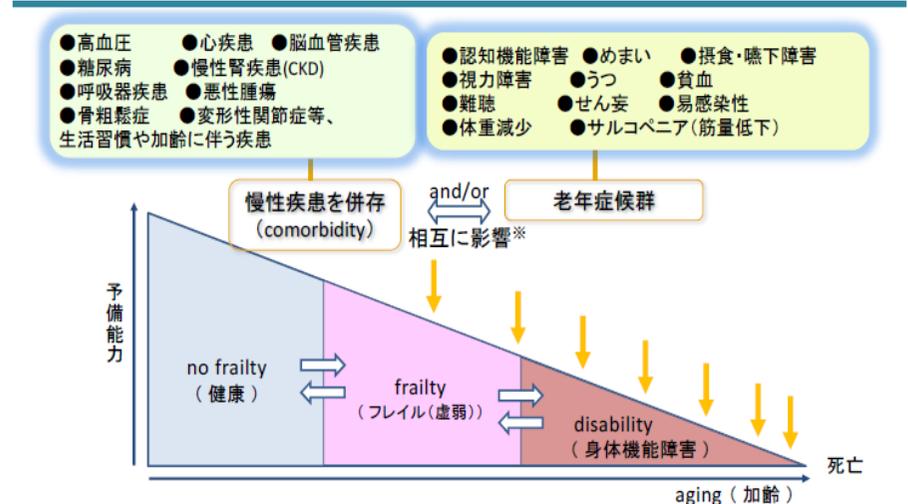
高齢者の
抱える課題

持病がある、閉じこもりがち、フレイルの恐れがある
など、高齢者は多様な課題を抱えている

保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)



高齢者の健康状態の特性等について



出典：厚生労働省

現状の保健事業と介護予防

保健事業

- 後期高齢者健診の実施



それぞれの分野で
個別に実施

介護予防事業

- 健康づくり教室
- 介護予防講演会
- 地域介護予防活動支援事業等

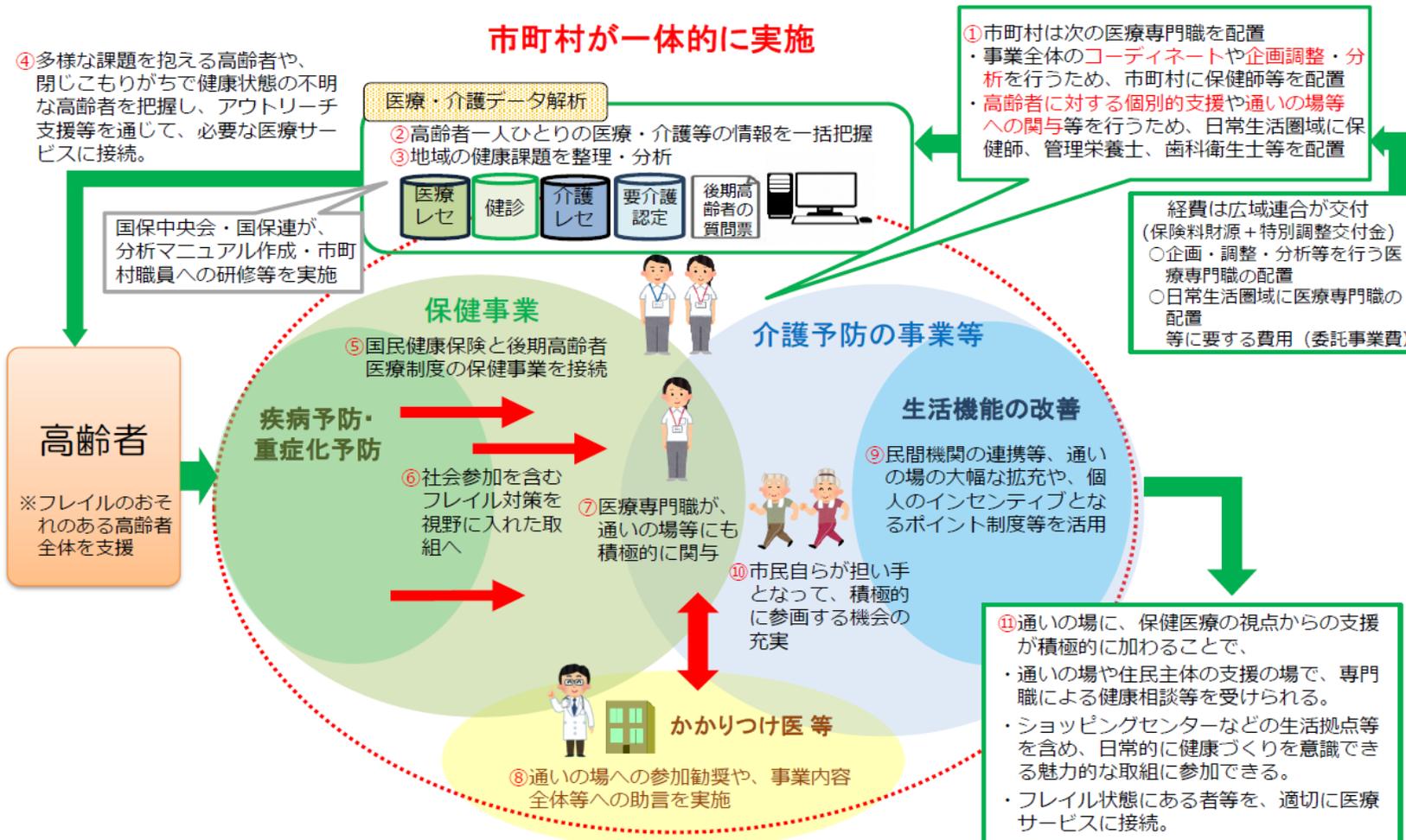


事業の方向性

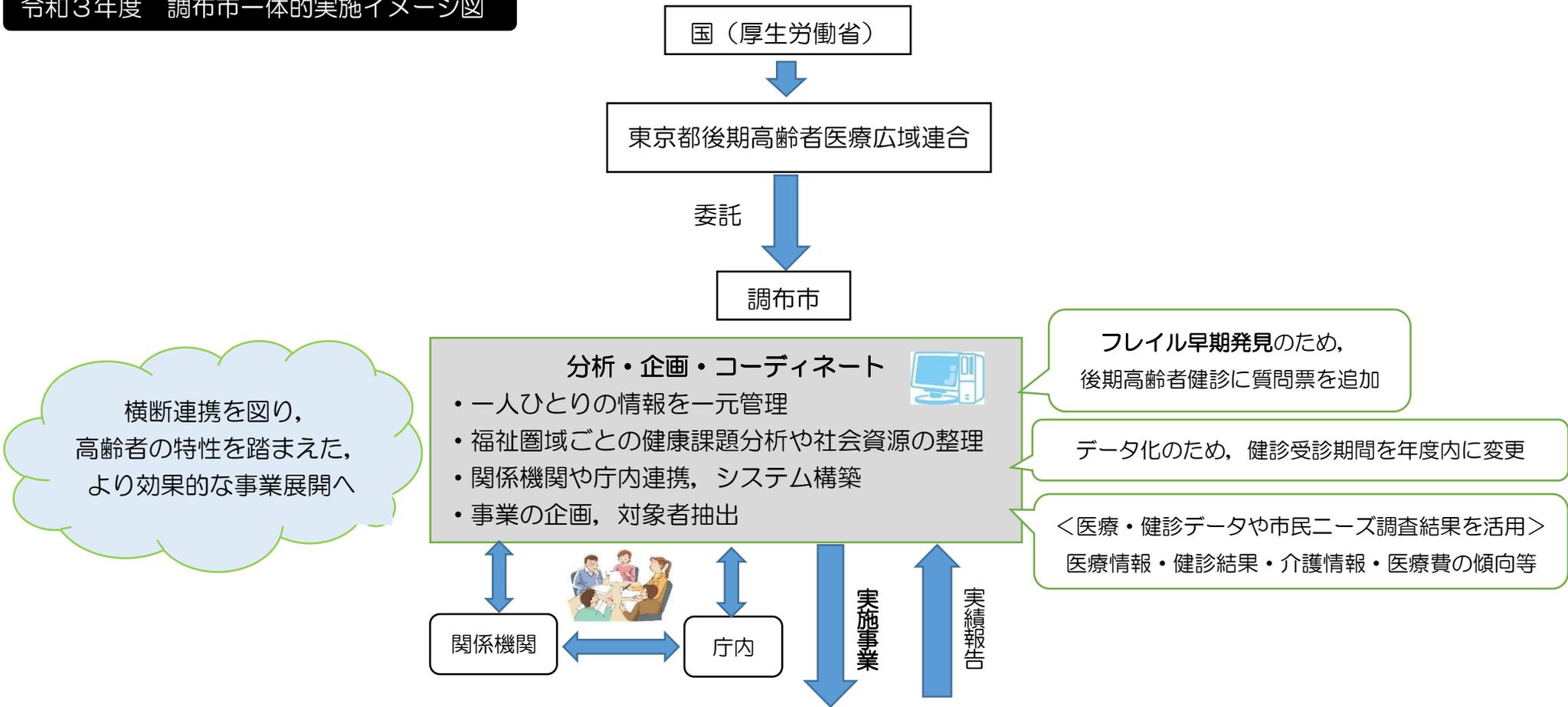
- ・高齢者の様々な特性に合わせた支援（運動・口腔・栄養・社会参加）
- ・社会とのつながりを持ち、自分らしく地域で暮らし続ける



高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（市町村における実施のイメージ図）



～2024年度までに全ての市区町村において一体的な実施を展開（健康寿命延伸プラン工程表）～



ハイリスク者への支援（ハイリスクアプローチ）

- 健康状態不明者の把握
（一定期間健診や医療未受診かつ、介護保険未利用者）
- 家庭訪問による健康状態把握，健康相談，受診勧奨
- 必要なサービスへつなぐ



広く集団全体への働きかけ支援（ポピュレーションアプローチ）

- 市民の通いの場へ医療専門職が出向き，フレイル予防の健康教育実施，フレイル状態にある高齢者の早期発見
- 必要時個別相談やサービスへつなぐ

